

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第4学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「みんなが気持ちよく生活するには」（内容項目：C-12 規則の尊重）
- 2 教材名「雨のバスでいりゅう所で」（出典「小学道徳4 はばたこう明日へ」教育出版）
- 3 主題設定の理由

きまりや規則は、人間関係を円滑にするとともに、きまりや規則があることによって集団や社会の中で生活する人間は守られている。しかし、きまりがあることはわかっていても、自分の思いを優先してしまい、「これぐらい問題ない」「誰も見ていないから大丈夫」といった気持ちに流されてしまうこともある。きまりの意義について考えることによって、なぜきまりがあるのかを理解させたい。さらに、社会生活の中において、守るべき道徳としての公德を進んで大切にできるように判断力を育みたい。

児童は、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。しかし、可視化されていない約束や社会のきまりについては、周りの様子を十分に把握することなく、自分自身のことを優先してしまう様子が見られる。また、約束やきまりを大切にすべきであると理解していても、行動に結びつかない様子も見られる。社会生活における、公共物や公共の場所との関わりについて考え、約束やきまりの意義やよさを理解できるようにしていきたい。

本教材は、「きまりを守ることがなぜ大切なのか」をテーマにした教材である。雨の日によし子さんは、バス停近くの店の軒下でバスを待つ人たちが並ぶ順番を無視して先頭に並び、バスに乗ろうとする。しかし、お母さんに並んでいた場所まで引き戻される。後ろに並んだことから既に座席が埋まってしまっていたことを不満に思いながらお母さんを見上げると、いつもと違って無言のまま窓の外を見つめるお母さん。その態度を見たよし子さんは、自分の行動を振り返るという内容である。よし子さんの行動について、お母さんやバスを待つ人たちの立場から考えることを通して自分の生活を振り返り、みんなが気持ちよく生活することについて、多面的・多角的に考えられるようにしていきたい。

4 本時のねらい

よし子さんの行動について話し合うことを通して、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする判断力を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 「公德」という新たな気付きを得られるよう、教材の特質を踏まえた発問を位置付ける。
- ② 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解するために、必然的に話し合いが生まれるようにする。
- ③ ICTを効果的に活用し、児童が自分の考えを表現しやすくする。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 『自分+〇〇=みんなが気持ちよく生活』に入る言葉について交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔 ・優しい ・ルールを守る 	<p>□〇〇に入る言葉について交流させることで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをするとともに、児童への多面的な見方を引き出す。</p>
展開	<p>2 資料「雨のバスでいりゅう所で」を読んで、話し合う。</p> <p>○「よし子さんの行動について納得したり、分からなかったりしたことはありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨宿りをして待っているのに、どうして先頭に並んだのかわからない ・雨宿りをしていてバス停に並んでいないからいいと思って先にバスに乗ろうとしたところは、私も同じことをするかもしれないからわかる <p>○「自分のしたことを考え始めたよし子さんの心を色で表すとしたらどのような色が、一番ふさわしいだろうか。それはなぜですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違っただけをしてしまったかもしれないという思いから青 ・お母さんが怒っているかもしれないということから黒 ・失敗した恥ずかしさで紫 <p>補 「なぜよし子さんは、自分のしたことを考え始めたのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの顔が怒っているように見えたから ・お母さんが何も話さないから <p>補 「よし子さんが先頭に並んだのはどんな思いからだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並んでいる人がいると思わなかったから ・雨宿りをしている人たちはバス停に並んでいないと思ったから ・誰も並んでいないから、最初にバスに乗って座ることができると思った <p>補 「なぜお母さんは怖い顔をしていたのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・娘がみんなに迷惑をかけたから ・バスで座るよりも順番を守ってほしかったんだと思う 	<p>□教材の登場人物の行動について交流することを通して、人間理解につなげる。</p> <p>□自分の考えに1人1台端末を活用して入力させるとともに、ロイロノート上で考えの共有化を図る。</p> <p>□自由に意見を交流したり議論したりする場を設定し、他者理解や価値理解につなげる。</p> <p>□道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えさせる。</p> <p>□よし子さんの行動について、お母さんの立場やバスを待っていた人たちの立場から話し合うよう促す。</p> <p>■よし子さんやお母さん、バスを待っている人など様々な人の立場から、よし子さんの行動について</p>

<p>展 開</p>	<p>補 「バスを待っていた人たちは、よし子さんの行動をどのように思っていたのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並んでいることに気がつかなかったのかな ・並んでいたのに横入りされたと思った ・みんな並んでいるのにあの子は抜かして行ったと思った <p>○「自分のしたことを考え始めようとした時の、よし子さんの○○は何だったのだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが怒っているかもしれないと感じたこと ・バス停で並んでいる人の様子が気になったこと ・周りの人の様子に気づいたこと <p>3 『自分+○○=みんなが気持ちよく生活』に入る言葉を意識した場面について交流する。</p> <p>○「自分の生活の中で、よし子さんのように○○に入る言葉を意識した場面はありましたか。それは、どのような場面ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に先に使っていた人がいたことに気がつかないで、遊び道具を使ってしまったこと ・図書室で、机の上に置いてあった本が気になったから読んでいたら、他の人が先に読もうとして置いてあった本だったこと ・家で、姉がテレビを見ていることに気がつかず、何も言わずにチャンネルを変えて怒られたこと 	<p>多面的・多角的に考えているか。 【発言・ワークシート（端末上）】</p> <p>□教材から離れて、自分の生活場面と道徳的諸価値とを照らし合わせて考えさせることを通して、価値を主体的に考えさせる。</p>
<p>終 末</p>	<p>4 学習の振り返りをする</p> <p>○「学習の振り返りを書きましょう。」</p> <p>※振り返りの視点</p> <p>「『みんなが気持ちよく生活』するための、あなたの1番大切な○○は何ですか？それはなぜですか。」</p>	<p>□これまでの学習で使用してきたノートに振り返りを記述させる。</p> <p>■約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ることについて、自分との関わりで考えているか。（発言、ワークシート）</p>